

もぎたてテレビ パーソナリティーは しこちゅ〜コンビ!

南海放送アナウンサー (アナウンス室長)

寺尾英子さん

(土居町出身・写真右)

南海放送アナウンサー

星加奈緒さん

(土居町出身・写真左)



新年、あけましておめでとうございます。
今年も「広報四国中央」をよろしくお願ひします。
さあ、平成31年(2019年)がスタートしました。今年の新春企画は、日曜日のひる11時45分から放送されている南海放送の人気番組「もぎたてテレビ」のパーソナリティーを務める、ともに本市土居町出身のアナウンサー・寺尾英子さんと星加奈緒さんに、本市での思い出やアナウンサーになったきっかけなどをお聞きしました。

土居町での思い出は？

寺尾 私は18歳まで住んでいて土居高校の卒業生です。今は土居の夏祭りは河川敷で行われていますけど、私が子どもの頃はもうちょっと小さな地域のお祭りで、小学校で花火があがってすごく迫力があり、楽しみでした。小学校のときはすごく活発だったんですけど、中学校のときは、思春期のせいかわば人と話してなくて、幼なじみぐらいとしか話してないです。そんな中学時代を過ごし、高校では先生に勧誘されて、ソフトボール部に入りました。3年生で引退するまで真っ黒になってやっていましたから、あの時にちよつと変わったかな、という気はします。まじめな高校時代でしたよ。

星加 私も18歳までなんですけど、高校は川之江高校でした。今年も行けませんでしたけど、秋祭りが大好きでした。小学生のときは近所の駄菓子屋さんに毎日のように通ってましたね。おいしかった焼き屋さんもあって、友達とよく行ってました。だから今も、たこ焼きが好きなんです。中学校では吹奏楽部でユーフォニアムという管楽器を担当したり、友達のおばあちゃんが先生をしていた茶道教室にも通ったりしていました。高校では演劇部に入ったんですが、演者ではなく照明を担当していました。全国大会に出ましたが、私は裏方だったので、演者たちが練習をしている時に、みんなで一斉懸命BGMを決めたり小道具を作ったりしていました。縁の下の力持ちになれてたらいいんですけど…。

お二人がアナウンサーを目指すようになったきっかけは？

星加 漠然とした憧れは小学生ぐらいからあって、でもずつと憧れが強いな感じでした。演劇部にも「発声練習になるかな」と思ってたんですけど、結局裏方で…。あまり前に出るタイプじゃなかったんです。そして大学生になっていろんな人に会う中で、「人と接したり話したりするのが好きだなあ」と思ってた。本格的にスクールに通ったり、旅行先で初めて出会った人とお話したりしました。人知れず頑張っている人や道端でボランティアをしている人に出会い、普段の当たらないところで頑張っている人を自分なりに応援できたらいいなと思って、アナウンサーになるのかなと思いつた。今まさにそういうことができているので、幸せだと思います。

寺尾 全然目指してなかったんですけど、大学の時にひよんなことから放送研究会に入りまして、入ったんですけどそれでも目指してはなかったんです。なれるとも思わないし、なるうとも思ってたんですけど、大学4年になる春に、中学・高校時代から放送部で頑張ってきた友達が短期集中のアナウンス講座を受けに行くと言ひ、もう一人同じサークルの子も行くと言ひ、私は卒業後のことを何も決めていなかったのので、「じゃあ私も行く」と。そこでアナウンサーを目指している大勢の人からも



刺激を受け、愛媛でそういう活動ができたらいいなと思いました。それに、もともと自分はデスクワークには向いてないと思っていたので、試験を受けることにしました。当時はバブルがはじける直前だったので採用枠に少し余裕があつて、「いろんなタイプのアナウンサーを採用しよう！」みたいな感じで採用してもらったのかなと思います。

もぎたてテレビで県内のさまざまなところに行くお二人から見て、四国中央市の魅力は？

寺尾 以前に番組で土居町を紹介したときは、ほぼ里芋だけで1時間の番組ができたんです。「それしかない、でもそれがある」っていうのはすばらしいことだと思います。

星加 五葉松も有名だつてことをあまり知らなかったんです。すごい価値のものもあつて、知らなかったことがもつたないなと思いました。高速道路から見える夜景も当たり前になつていましたけれど、改めて見るとすごくきれいですよね。「四国中央らしいってこういう景色なのかな」って思ったりします。それと先日、母が三島の商店街で行われたクリスマスマスカ―ニバルに行ったと聞きました。他にも今までなかったイベントがたくさん行われていたみたいで、みんなの力でまちを元気にしようとしていて、いいなあと思いました。

寺尾 高速道路を通ると、山並みの横面

が水墨画のように陰影がついて見るとよく言われます。そういう景色は他にあまりないかなと思いますね。



テレビで活躍するお二人が土居町出身だということを知り初めて知る方もいると思います。いろいろなことにチャレンジしようとしている子どもや学生のみなさんにメッセージを！

寺尾 言われ尽くしてると思いますけど「ピンチがチャンス」ということです。私はいろんな人にインタビュをする機会がありますが、中には「マスクミが嫌い」って言う人もいます。その時に、「この人を楽しんで思ってもらうにはどうしたらいいだろう」と必死に考えます。そこで「やっぱりそう思う人いるよね」と諦めてしまつたら、それで終わつてしまつて嫌いなままになつちゃうから。だから「あく楽しかった」ってやつでもらつた時が一番うれしい！一人でも

「楽しかった」って言ってくれる方を増やしたいと思つています。若い時は自分のためにひたむきにやればいいと思うんですけど、その先に「誰かのためにやろう」と思うと、もつと行動できるようなるんじゃないかな。

星加 「誰かのために」っていうのはすごく大きいと思います。お話ししている相手や行ったお店の人が喜んでくれたり、その人が画面を通して誰かを元気づけたりできればいいなと思つています。美容師さんでも料理人さんでも、自分がそのプロになつて有名になつてお金を稼ぎたいというだけじゃなく、その先に「誰かを喜ばせたい」という思いがきつとあるはずなので、そこまで考えて行動すると変わっていくんじゃないかなと思えます。それは都会とか地方とかは関係なく、見てくれている人はいるんじゃないでしょうか。

最後に、2019年はどんな年にしたいですか？

星加 2019年は「猪突猛進」、ポジティブにいかこうと思つています。いろんな人に出会つて、話をして、愛媛をもっと好きになろうと思つています。

寺尾 愛媛は温暖で、明るくて、まさにみかん色のイメージですが、2018年は豪雨災害など苦しいこともありました。2019年はそれを乗り越えて、社会全体が「愛媛色」になつたらいいなと思つています。



星加奈緒さん

土居町生まれ
川之江高校卒業
平成27年(2015年)
南海放送入社
【担当番組】
もぎたてテレビ
特命副知事 みきやん
大作戦
元気！えひめ農業！
今コレ！



寺尾英子さん

土居町生まれ
土居高校卒業
平成2年(1990年)
南海放送入社
【担当番組】
もぎたてテレビ
特命副知事 みきやん
大作戦
今コレ！